

「令和6年度 砂防学会九州支部若手技術者交流会」実施報告

公益社団法人 砂防学会九州支部

令和6年12月13日（金）に砂防学会九州支部主催で若手技術者交流会を実施しましたのでここに報告いたします。本交流会は支部内における会員交流の活発化ならびに研究・技術開発活動の高揚を目的とした新たな取り組みで、今後も継続的に行ってまいりたいと考えております。

第1回目となります今回は、本交流会の運営幹事である各建設コンサルタント所属の若手社員5名による口頭発表を行いました。年度末の開催となることを踏まえ現地+WEBのハイブリット形式とし、参加者間による自由闊達な議論ならびに情報交換を図りました。

1. 日時・会場

令和6年12月13日（金） 15:00～17:30
西日本技術開発（株） 本社8階第5会議室

2. テーマ・発表者

- ・土砂災害の堆積土砂量を発災後早期かつ一定精度で把握する手法の提案
(株) オリエンタルコンサルタンツ：有間 航
- ・阿蘇火山（中央火口丘・外輪山）における近年の流砂・水文特性
日本工営（株）：新蔵 千沙都
- ・宮崎県中部流砂系をフィールドとした総合土砂管理の取組推進に向けた検討
(株) 建設技術研究所：柳 洋平
- ・土石流堆積特性への底面摩擦の影響に関する数値解析的検討
西日本技術開発（株）：上園 浩志
- ・設計条件の変更に伴う砂防堰堤設計の見直し事例
砂防エンジニアリング（株）：白井 貴也

3. 参加人数

29名（会場：11名、WEB：18名）



発表会の様子

以上